

創薬支援推進事業・創薬シーズ実用化支援基盤整備事業 事後評価結果

1. 基本情報

補助事業課題名	DISC ユニット
補助事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度（予定）
代表機関名	第一三共 RD ノバーレ株式会社
補助事業代表者 部署・役職・氏名	研究推進部 部長 工藤 玄

2. 評価結果

優れている（計画した成果をやや上回る成果が得られた）

3. 評価コメント

約 36 万の化合物ライブラリーの維持管理、基礎的段階から企業導出までの包括的な支援体制構築等の基盤整備が進んだこと、購入化合物の一部を BINDS 事業へ提供し AMED 内の他事業と連携した点は評価できる。また、活発な広報活動や HTS（ハイスループットスクリーニング）設備の見学会開催はアカデミア研究者の創薬ブースター認知度や創薬意識の向上に寄与したと言える。製薬企業 21 社が参画する大規模かつ複雑な仕組みを 5 年間着実に運用し、多くの HTS 候補課題への技術コンサルテーションと 7 件の HTS 実施、3 件の企業導出を達成した点は成果である。今後、本事業において構築されたアカデミア創薬支援体制の継続と、更なる HTS 実施課題数の増加を目指し、より早期ステージからコンサルテーションを実施する等の取組に期待したい。

以上